

事業番号	09 04 37	事業改善シート（27年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	外来魚等食害防止対策事業			担当課	部局	農政部	
					課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H15 ~	

1 事業の概要

目指す姿	ブラックバス等の外来魚、カワウ等及びミンクによる漁業被害を軽減し、豊かな水産資源を維持する。						
現状 (予算編成時)	<p>○外来魚：天然水域については県内30漁協のうち15漁協で、ため池については全体の29%で生息が確認されている。魚食性が強く、繁殖力も旺盛なため、漁業や生態系に大きな影響を及ぼしている。</p> <p>○カワウ：平成7年以降確認数が急増し、平成12年までに県下の主な水域で見られるようになった。一日に300～500gの魚を捕食するため、漁業に大きな被害をもたらす。</p> <p>○ミンク：千曲川上流部の川沿いに広く分布している。一日に魚など200gを捕食することに加えて、ミンクがいると魚が釣れなくなるとの苦情もあることから、分布の拡大を防ぐ必要がある。</p>						
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施： 実施中		【左記の説明、根拠法令等】 外来魚等による漁業被害防止については、漁業権を有する漁協の努力だけでなく、国や地方公共団体も対策の実施に対する支援などの措置を講ずることが求められており、県は駆除活動等の被害防止対策の推進を表明している。 根拠法令等：内水面漁業振興法、外来生物法、第2期長野県食と農業農村振興計画、生物多様性なごの県戦略				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	漁業被害を低減するため、漁協等が行う外来魚等の駆除及び被害防除に要する経費を補助し、漁業被害の低減に努める。 ・外来魚の駆除及び被害防除対策を行う団体への支援 8団体(外来魚生息15漁協のうち8漁協) ・カワウの駆除及び被害防除対策を行う団体への支援 9団体(カワウ被害有り18漁協のうち9漁協) ・ミンクの駆除及び被害防除対策を行う団体への支援 2団体(ミンク分布3漁協のうち2漁協)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27実施内容	H26 (当初)	H27 (要求) (予算案)	
		外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策事業を推進するための経費	200	200	
	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚、カワウ及びミンクの駆除及び食害防止に要する経費補助(補助先:漁協等)	1,681	1,681		
			合計	1,881	1,881 0		
事業 コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案
	予算額	前年度繰越					
		当初予算	2,099	1,881	1,881	1,881	
		補正予算					
		合計(A)	2,099	1,881	1,881	1,881	0
	Aの財源	一般財源	2,099	1,881	1,881	1,881	
		県債					
		国庫支出金					
		その他	0	0	0	0	0
	決算額(B)	2,076	1,789				
概算人件費	職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90		
	概算人件費(C)	7,432	7,432	7,432	7,432	0	
	概算事業費(B(A)+C)	9,508	9,221	9,313	9,313	0	
指摘事項等への対応 <input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善			(指摘事項等)		(対応)		
要求からの主な変更点							